

## 朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

### 2000年北朝鮮のGDP推定と産業別動向

韓国の中央銀行である「韓国銀行」が5月に北朝鮮の2000年GDPを推定したデータを発表した。これに基づいて北朝鮮の経済動向をまとめて分析することとする。

### 概況

2000年に北朝鮮は1999年に続くプラス成長である前年比1.3%の経済成長を実現したと分析された。名目GDPと一人当り国民所得は韓国通貨で其々約19兆ウォン、85.6万ウォンと推定された。これを韓国ウォンと米国ドルの市場為替レートによりドルに換算すると、其々約167.9億ドル、757ドルとなる。この結果、実質GDP基準の経済規模は2000年に1990年の75%水準まで回復したことになる。その要因としては、穀物生産の減少（15.0%減）にもかかわらず建設と鉱業生産が活発に行われたことが挙げられた。北朝鮮経済が停滞を脱したとはまだ断定できないが、回復に向けて動いていることは確かである。

### 産業別動向

農業部門（2000年農林水産部門のGDP構成比30.4%）で穀物生産量は干ばつなどの自然災害の影響が多かったので1999年の422万トンから2000年に359万トン（コメ142、トウモロコシ144、芋類39、雑穀34万トン）に減少したと推計された<sup>2</sup>。一方、国連食糧農業機関（FAO）は2000年度の穀物生産量を300万トンとさらに低く推計している。このような穀物生産減少に加え今年も5月まで激しい干ばつが続き今年の穀物生産も楽観的ではない状態である。世界食糧計画（WFP）の報告<sup>3</sup>によると、食糧の公共配給量は今年5月に一人当たり1日150gまで減少している。韓国の食糧支援分（借款）50万トンも5月に終了した。6月からの食糧供給は国際支援（日本の50万トン支援のうち未到着分30万トン、米国10万トンなど）やジャガイモなどの代用食料に大きく依存するしかない状態である。当分の間は国際社会の食糧支援が必要であろう<sup>4</sup>。

エネルギー部門で石炭生産量は1999年の2,100万トンから2000年に2,250万トン（前年比6.1%増）まで回復したと推

計されたが、91年の3,110万トン水準にはまだ900万トンが不足している。全量輸入に依存している原油の輸入量は1999年の32万トン（KEDOの重油支援量50万トン除外）から2000年に39万トンに増加したが、過去最高水準である88年の約300万トンの30%水準（KEDO支援分含む）に留まっている深刻な石油不足の状態である。電力生産は99年の186億kWhから2000年に194億kWhと若干回復した（前年比4.3%増）と推計された。この背景には石炭の増産により火力発電が増加したことと、水力発電所の追加建設により10万kW以上の発電能力増加があった。しかし、まだ1990年の277億kWhの70%水準に留まっている。北朝鮮政府は2001年度の電力生産を前年比1.1倍増加し、大規模の水力発電所建設を継続する計画を発表している<sup>5</sup>。しかし、これだけでは不十分でありエネルギー部門で韓国からの電力支援が非常に重要な課題となっているが、韓国内部の反対世論もありまだ具体的に進展していない状況である。

製造業部門（2000年GDP構成比17.7%）は2000年に重工業が前年比1.5%減少、軽工業が同6.2%増加し、総計0.9%成長したと推計された。軽工業部門は飲食料品、繊維・衣服などが成長を牽引した。重工業部門の生産減少はコークス炭の輸入減少<sup>6</sup>と製鉄所設備補修作業により鋼鉄生産が減少（1999年124.3万トンから2000年108.6万トン、12.6%減）したと分析された。しかし、北朝鮮が1999年にコークス炭の投入が要らない新しい製鉄工法である「酸素熱工法」を開発したことを勘案すると、鋼鉄生産減少の推定に疑問が残る。

建設部門は2000年に道路、住宅や発電所などの建設が活発になり前年比13.6%成長したと推計された。この部門は1999年にも24.3%の成長を示し、産業ウェイトが大きくはない（2000年GDP構成比6.9%）が、北朝鮮経済の牽引車としての役割を果たしている。

サービス部門では非公共部門（2000年GDP構成比9.8%）の飲食宿泊業（前年比26.6%増）運輸業（同5.7%増）などが成長したと推計された。これらのサービス部門は今後北朝鮮の重要な産業部門になる可能性が高いとみられる。

（ERINA調査研究部客員研究員 李燦雨）

<sup>1</sup> 2000年の韓国ウォンの期間平均為替レートは1,130.6ウォン/ドルである。

<sup>2</sup> 2000年1月10日に韓国農村振興庁が分析・発表した資料を韓国銀行がそのまま引用している。

<sup>3</sup> WFP緊急報告書2001.No.16（2001.4.20）No.22（2001.6.11）

<sup>4</sup> 韓国農村研究院は2001年の穀物需要量479万トン、2000年の生産量292万トン、不足量187万トンと推計した。そして、国際支援量110万トンと商業輸入量20万トンを除き、約57万トンの追加支援が必要であると分析した。（出所）韓国農村研究院、「農業展望2001」2001.1.31

<sup>5</sup> 最高人民会議第10期第4回会議（2001.4.5）

<sup>6</sup> 2000年1～9月にコークス炭の輸入は3.7万トンで前年同期比28.9%減少した。

## 朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）の主要経済指標の推移

NO	区分	単位	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000		
1	総人口	千人	20,495	20,798	21,123	21,353	21,543	21,684	21,810	21,942	22,082	22,175		
2	GDP(名目)	億ドル	229	211	205	212	223	214	177	126	158	168		
3	1人当たり国民所得	ドル	1,115	1,013	969	992	1,034	989	811	573	714	757		
4	実質GDP成長率	%	5.2	7.6	4.3	1.7	4.5	3.7	6.8	1.1	6.2	1.3		
5	名目GDPの産業部門別構成	農林水産業	構成比	28.0	28.5	27.9	29.5	27.6	29.0	28.9	29.6	31.4	30.4	
			成長率	"	2.8	2.7	7.6	2.7	10.5	1.0	3.9	4.2	9.2	1.9
		鉱工業計	構成比	38.0	33.8	32.9	31.4	30.5	28.0	25.5	25.6	25.6	25.6	25.4
			成長率	"	7.9	9.2	8.2	7.8	8.0	7.1	6.7	6.6	7.3	7.7
		製造業	構成比	30.0	24.6	24.7	23.6	22.5	20.9	18.8	19.0	18.3	17.7	17.7
			成長率	"	13.4	17.8	1.9	3.8	5.3	8.9	16.8	3.1	8.5	0.9
		SOC及びサービス計	構成比	34.1	37.7	39.2	39.0	41.9	43.0	45.6	44.9	43.0	44.2	44.2
			成長率	"	5.0	5.1	4.8	4.8	4.8	4.3	4.3	4.2	4.5	4.8
		電気・ガス・水道	構成比	4.5	5.7	8.7	4.2	0.1	7.8	9.6	9.2	6.8	3.0	3.0
			成長率	"	8.2	9.1	8.5	6.3	6.7	6.4	6.3	5.1	6.1	6.9
		建設	構成比	3.4	2.1	9.7	26.9	3.2	11.8	9.9	11.4	24.3	13.6	13.6
			成長率	"	20.9	23.5	25.9	27.9	30.3	32.3	35.0	35.6	32.4	32.5
		サービス	構成比	2.5	0.8	1.2	2.2	1.5	0.8	1.1	0.5	1.9	1.2	1.2
			成長率	"	8.0	6.3	6.8	7.0	6.8	6.9	6.5	6.4	6.1	6.5
		(製造業内訳)	軽工業	構成比	4.4	7.3	5.0	0.1	4.0	7.1	12.0	0.2	2.4	6.2
				成長率	"	22.0	18.3	17.9	16.6	15.7	14.0	12.3	12.6	12.2
重工業	構成比		15.8	21.0	4.2	5.2	5.9	9.7	18.7	4.6	11.6	1.5		
	成長率		"	13.0	15.0	16.8	18.6	20.7	22.5	25.1	25.3	22.8	22.6	
(サービス内訳)	政府	構成比	4.4	2.4	2.3	3.3	2.8	1.7	2.2	0.3	4.5	0.5		
		成長率	"	7.9	8.6	9.0	9.3	9.6	9.7	9.9	10.3	9.6	9.8	
	その他	構成比	0.3	1.7	0.5	0.4	0.7	0.7	1.0	1.1	3.9	2.5		
		成長率	"	173.0	175.0	185.3	192.7	118.5	94.9	91.3	90.0	91.2	95.4	
6	国家予算(注1)(注2)	歳入	億ドル	173.0	175.0	185.3	192.7	118.5	94.9	91.3	90.0	91.2	95.4	
	歳出	"	171.7	173.9	183.8	191.9	118.0	96.3	91.3	91.0	92.2	95.7		
7	石炭生産	千トン	31,100	29,200	27,100	25,400	23,700	21,000	20,600	18,600	21,000	22,500		
8	原油	総輸入	万トン	189	152	136	91	110	94	51	61	32	39	
9	電力	発電能力	万kW	714	714	714	724	724	739	739	739	739	755	
		発電量	億kWh	263	247	221	231	230	213	193	170	186	194	
10	穀物	生産量	千トン	4,427	4,268	3,884	4,125	3,450	3,690	3,489	3,886	4,222	3,588	
		輸入量(注3)	"	1,290	830	1,093	490	962	1,050	1,630	1,120	1,070	1,225	
11	対米為替レート	ウソドル	2.15	2.26	2.19	2.16	2.05	2.14	2.16	2.20	2.17	2.19		
12	貿易(注4)	輸出(A)	億ドル	11.2	11.9	12.0	10.2	9.6	9.1	11.0	6.5	6.4	7.1	
		輸入(B)	"	17.1	16.4	16.3	12.9	13.8	13.2	13.9	10.1	11.8	16.9	
		貿易総額(A+B)	"	28.3	28.3	28.3	23.0	23.4	22.3	24.8	16.6	18.1	23.9	
		貿易収支(A-B)	"	6.0	4.5	4.3	2.7	4.2	4.1	2.9	3.6	5.4	9.8	
		貿易/GNP	%	12.4	13.4	13.8	10.9	10.5	10.4	14.0	13.2	11.5	14.3	
			成長率	"	8.6	15.6	29.7	19.9	6.4	6.9	12.2	5.7	4.2	3.7
	(主要国別)	中国	輸出	百万ドル	86	156	297	199	64	69	122	57	42	37
			輸入	"	525	541	602	425	486	497	535	356	329	451
			貿易総額	"	611	697	900	624	550	566	656	413	370	488
			貿易収支	"	439	386	305	225	423	428	413	298	287	414
		ロシア	輸出	"	171	65	40	40	16	29	17	8	2	3
			輸入	"	194	227	188	100	68	36	67	57	49	43
			貿易総額	"	365	292	227	140	83	65	84	65	50	46
			貿易収支	"	23	162	148	60	52	7	50	48	47	39
		日本	輸出	"	284	257	252	323	340	291	310	219	203	207
			輸入	"	224	223	220	171	255	227	179	175	148	257
貿易総額	"		508	480	472	494	595	518	489	395	350	464		
貿易収支	"		60	34	33	152	85	64	132	44	55	50		
韓国	輸出	"	106	163	178	176	223	182	193	92	122	152		
	輸入	"	6	11	8	18	64	70	115	130	212	273		
	貿易総額	"	111	174	187	195	287	252	308	222	333	425		
	貿易収支	"	100	152	170	158	159	113	78	37	90	120		
13	累積対外債務	金額	億ドル	93	97	103	107	118	120	119	121	123	12	

(出所)

1. 韓国銀行、「北朝鮮のGDP推定結果」各年度
2. 朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議、「予算報告書」各年度
3. 大韓貿易投資振興公社(KOTRA)、「北朝鮮の対外貿易動向」
4. 韓国統一部、「南北交流協力動向」

(注)

1. 1994年の部門別歳出は予算ベース(構成比も同様)
2. 1995-96年の国家予算額は北朝鮮政府がIMFに提出したものである。
3. 各国および国際機関からの穀物支援を含んだ量である。
4. KOTRA推計による北朝鮮の対世界貿易額には韓国向けが含まれていないため、北朝鮮・韓国間の交易金額をERINAにて加算